



# JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 304

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088 (655) 4105  
fax. 088 (655) 4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



### 当面の日程

- ◎ 6月19日(水)  
NPO法人徳島労働安全衛生センター第18回定期総会  
(労働福祉会館502号室)
- ◎ 6月26日(水) 連合徳島2019年度地方委員会  
(ろうきんホール)

第90回徳島メーデーが2019年4月27日(土)、5月1日(水)の両日、県内5会場で開催され、約2,100人が参加した。(徳島中央・1,500人、阿南那賀海部地区・140人、中部地区・228人、美馬地区・80人、三好地区・150人)

初めての4月開催となった、第90回徳島中央メーデーは4月27日徳島市の新町川公園・御成婚広場で開催され、各構成組織・労働福祉団体など50団体・1,500人が参加した。被災地復興支援として、今回も岩手・宮城・熊本3県の物産品を抽選会の賞品として活用し、復興支援に取り組んだ。

新居副実行委員長の挨拶で開会し、議長団に大谷連合



徳島中央メーデーには、50団体・1500人が参加



働き方改革実現などを訴えデモ進行

続いて、来賓として飯泉徳島県知事、遠藤徳島市長、労働福祉団体を代表して(公社)徳島県労働者福祉協議会川越会長、国民民主党徳島県総支部連合会庄野代表、社民党徳島県連合前川代表、立憲民主党徳島県連合武内代表、

徳島副会長と三木連合徳島女性委員会事務局長が選出され、主催者を代表して、森本実行委員長は「働き方改革の実現に向けて、政府と自治体、経営者団体、労働組合が本気で連携し、一体となった運動を展開する必要がある。時代が令和に変わり、日本の働き方が変わったという、歴史に残る改革にしていこう」と呼びかけた。

## 第90回メーデー5地区で開始

「格差をなくし、平和を守る！」  
笑顔あふれる未来をつくろう  
すべての仲間の連帯で

その後、国見副実行委員長からプラカード審査発表が行われ、メーデー大賞・徳島市農協労組女性部、優秀賞・徳島市農協労組、努力賞・東とくしま農協労組に賞品が贈られた。

鎌谷連合徳島副会長の閉会挨拶の後、森本実行委員長による団結カンパローを三唱し、第90回徳島中央メーデーを終了した。なお、集会終了後にデモ行進と抽選会が行われた。

連合徳島推薦議員ネットワークを代表して臼木県議から、挨拶を受けた。

渡邊副実行委員長からの祝電・メッセージ披露の後、

①「2019中小春季生活闘争未解決組合を支援する特別決議」②「良質な公共サービスの確立を求める特別決議」③「働く者のための働き方改革の実現に向けた特別決議」の3本と、

「メーデー宣言(案)」が提案され、全体の拍手で採択された。



阿南・那賀・海部地区メーデー140人が参加

中部地区メーデー228人が参加



県民にアピールを行う弁士ら

「クラシノソコアゲ応援団! RENGOKYカンパイン」徳島駅前街宣行動を2019年5月15日にJR徳島駅前で行い、各構成組織等から33人が参加し、街頭宣伝・ビラ配布・街頭アンケートを行った。



美馬地区メーデー80人が参加



三好地区メーデー150人が参加



街頭アンケートを実施

日に行われた労働政策審議会雇用環境・均等分科会で『女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等の一部を改正する法律案要綱』について答申が行われた。法案要綱は、女性活躍推進法の義務を拡充させる改正とパワーハラスメント防止処置やハラスメント責務規定などを法制化する労働施策総合推進法等の改正がまとめ

### 全国「斉」女性のための労働相談ホットライン 開設周知

## 街頭アンケート実施

### 6月男女平等月間

「ハラスメントは行ってはならない」との文言修正があった。禁止規定に近い表現となったことを連合としては前向きに評価している。一方、『国、事業主及び労働者の努めるべき事項』の見出しは責務規定と受け止めにくい表記であり、連合は法案化の際には、『ハラスメントは行ってはならない』とした上で、責務規定と理解できる表記にするよう審議会で意見を述べ、最大限努力するとの答弁を得たことから、審議会は法案要綱をおおむね妥当とし、厚生労働大臣への答申を行った。連合は、今年のILO総会における『仕事の世界における暴力とハラスメント』の条約採択に向けて、日本政府に条約の支持と批准を求めていく」と訴えた。

アンケート内容	はい	いいえ	どちらとも	未回答
アベノミクスで私たちの暮らしは良くなりましたか?	17	30	2	0
セーフティネット・社会保障は充実していますか?	31	13	0	5
生活と仕事の両立はできていますか?	23	21	0	5
私たちの声は政治に反映されていますか?	1	41	2	5

街頭アンケート結果(49人)

続いて、連合徳島推薦議員ネットワーク(庄野昌彦、黒崎章、仁木啓人) 徳島県議員(武知浩之、春田洋、増田秀司) 徳島市議会議員から、今後の政策の取り組みを訴えた。

連合本部が地方連合会と取り組んでいる街頭アンケートの結果は以下の通りであった。

### 中小労働対策本部 夏季学習会

## 労働法の基礎講座Ⅱ

2019年5月31日、徳島県中小労働対策本部は夏季学習会「労働法の基礎知識Ⅱ」を労働福祉会館502会議室で開催し、連合徳島構成組織から22人が参加した。

この学習会は、2019年2月に「第28回定期総会・一泊研修会」で開催した「労働法の基礎知識Ⅰ」講演では、「労働組合の権利に関する法律」「労働組合の一般的な知識」等、重要な権利・知識について学んだ。



原田中小労働対策本部議長が講演

四国ブロック金議  
最低賃金  
最担当者会

ナショナルミニマムを念頭に

### 「誰もが時給1000円」を 超える新たな目標を検討

連合四国ブロック最低賃金学習会が、2019年5月27日に高知市で開催され、四国各県から地方最低賃金及び特定最低賃金審議委員28名(連合徳島5名)が参加した。

2019最低賃金方針・中賃審議会の審議動向について学んだ。

冒頭、四国ブロックを代表して、開催地となった連合高知折田会長から「各県の最低賃金引き上げの奮闘に敬意を表するとともに、この学習会で本部や各県の情報を共有し有意義なものにしてほしい」と挨拶。

富田総合労働局長からは、2019最低賃金取り組み方針に基づき、労働主張の骨子として、「ナショナルミニマムとしてふさわしい水準はいかにあるべきかを議論すべきであり、本年は10月に消費増税が予定されており、物価動向を注視する必要がある。地域別最低賃金の発効は増税タイミングと同じ10月以降になることから内需を腰折れさせないために、低所得者の賃金の底上げが不可欠であり、物価上昇を

勘案した目安を示すべきである」と述べ、各地方労働局に対し、特定最賃についてはそれぞれの産業を代表する労使の自主性と役割を尊重しあい審議会運営がはかられるよう、指導を徹底することを要請する旨が説明された。

続いて、四国ブロック各県から、2018年度の経過報告と、情報交換が行われた後、まとめとして、富田総合労働局長から「引き続き、最低賃金の影響のある方たちへの取り組みとしてご奮闘していただきたい」と締めくくり、今年度の最賃の取り組みが

2019年5月17日、18日、高知市三翠園において、2019連合四国ブロック女性会議が開催され、徳島4名、香川4名、高知20名、愛媛6名の合計34名が参加された。

連合愛媛女性委員会西川京子委員長が、「雇用機会均等法が施行されて、30数年が経過した。本当の機会均等を実現するために取り組んで行きましょう」とあいさつした。次に、連合高知折田晃一会長が、「男女平等参画の課題は、女性だけの課題ではないが、主体的な取り組みをお願いする」とあいさつした。

つづいて、廣瀬淳一高知

大学男女共同参画推進室長が講演

四国各県から28人が参加

連合本部・富田総合労働局長が最賃審議経過と方針を提起



四国各県から28人が参加

連合本部・富田総合労働局長が最賃審議経過と方針を提起

## 再審開始決定の実現をめざし 徳島駅前街宣行動集会

狭山県内集会

2019年5月23日、JR徳島駅前において狭山事件の再審を求める県内集会を部解放徳島地方共闘会議、部落解放徳島青年共闘会議、狭山事件を考える徳島の会の3団体で実施し、各構成組織・団体から80人が参加した。

街頭宣伝は、地方共闘・片岡事務局長(連合徳島副事務局長)の開会あいさつの後、森本議長(連合徳島会長)が、「第3次再審請求から10年以上が経過し、新証拠・鑑定を先月までに221点も提出してきた。56年に及ぶ冤罪の真相と石川さんの無実を訴え、全証拠の開示と新証拠にもとづく再審開始を求める運動にご理解とご協力をお願いする」と訴えた。



狭山事件闘争勝利に向け街宣行動

## 第19期 ボランティア・サポートチーム養成講座開講

### 災害時のリーダーを育成

2019年5月25日に第19期ボランティア・サポートチーム(VST)養成講座が徳島市東消防署で開催され、各構成組織等から20名が参加した。

開講式は、連合徳島ボランティアサポートセンター(VSC)中山リーダーの司会で進められ、主催者を代表して、連合徳島森本会長から、「第19期となる連合徳島VST養成講座は内容の充実を毎年図りながら、連合東京VSCを参考に取組み、講座修了者がVSCメンバーとなり新たな受講

者をサポートしている。これからの講座で災害時に必要な知識と技術をしっかりと学んでほしい。また、チーム全体で信頼関係と絆を築いてもらいたい」と挨拶。

続いて、VSC国見リーダー長からは「本講座は、半年間で災害時に家族や同僚の生命を守るための知識や技術が習得できる講座となっている。これからの講座で多くの事例を学んでほしい」と挨拶。

同日開催の第1回講座「普通救命講習」では、徳島市東消防署の職員の方々から、

心肺蘇生法・AED(自動体外式除細動器)・気道異物の除去の説明を受け、その後全員で訓練用の人形を使い心臓マッサージやAEDの取り扱い訓練を受けた。

本年度からは、「徳島市みちピカ事業」に参画し、徳島県労働福祉会館の周囲(昭和町市道)の清掃活動を行った。

今回の講座で普通救命講習修了証を新規に交付された11名であった。初めて参加した受講者からは、「AEDの機能や使用方法を知ることができて良かった。緊急



心肺蘇生法を実践



開講式・連合徳島森本会長あいさつ

## 高知大学男女平等推進室長が講演

### 啓発+行動のワークデザインで幸福度upを

2019年5月17日、18日、高知市三翠園において、2019連合四国ブロック女性会議が開催され、徳島4名、香川4名、高知20名、愛媛6名の合計34名が参加された。



高知大学男女共同参画推進室長廣瀬が講演



四国各県から34人が参加